

平成22年度 私立学校初任者研修 九州地区研修会 概要報告

会期 2010年6月30日(水)～7月2日(金)

会場 唐津ロイヤルホテル(佐賀県唐津市)

参加者数 173名(83校)

九州は一つの合い言葉のもと、本年度初任者研修九州地区研修会は、佐賀県私立中学高等学校協会が実施主体となり、佐賀県私立学校9校が総力を挙げて実施された。近年では九州地区はもとより全国の初任者宿泊研修としては最も多い参加者数であった。

例年、大雨や台風の接近に気を遣うことが多い時期でもあり、現在、口蹄疫の問題が発生している宮崎県や集中的な大雨に見舞われている九州南部からの参加者にとっては、決して良い条件の中での参加ではなかったと推察されるが、会期中は奇跡的にほとんど雨も降らず、恵まれた天候の中での開催となった。

研修は、日本私学教育研究所所長、中川武夫氏の基調講演「私立学校の現状と今後の課題」で始まり、私立学校には建学の精神があること、私学の立場からの発言の重要性などが語られた。さらに新しい学力とは何か、企業から見た私学の役割、生徒指導・学習指導などについて実際に学校内外の現場で地道に行動されている方々の講義が続いた。また、今回の研修の特色の一つであるが、学習指導面・生徒指導面から参加者同士の話し合いの場を数多く設けたことで、活発な意見交換がなされ、指導に当たられた担当教員の側からも情報を共有することの重要性が示唆された。

研修内容は以下の通りである。

◎「私立学校の現状と課題」(中川武夫：

日本私学教育研究所 所長)

◎「新しい学力」(山崎吉朗：日本私学教育

研究所 専任研究員)

◎「企業人からみた私学の役割」(稲田繁生：

敬徳高等学校理事長・元佐賀新聞社

代表取締役専務)

◎教科別分科会

◎「生徒指導について」(桑原宏樹：佐賀警察

署生活安全課兼県警本部少年課 課長兼

課長補佐)

◎「学習指導について」教師の使命-次世代への責任(福地昌平：佐賀県教育委員会学校教育課 指導主幹)

◎分散会(生徒指導)

◎分散会(学習指導)

◎全体発表(生徒指導、受講者によるグループ別発表)

◎生徒達から無限の可能性を引き出すために(光岡三佐子：佐賀女子高等学校 新体操総監督)

「真の学力に求められるのは、思考力・判断力・表現力であり、それらに必要なスキルを身につけることが必要である。」「意見交換を活発に行い、各方面との情報の共有・仲間づくり、世界に通用するルール作りも重要である。」「生徒指導にあたっては、問題が発生してからの対蹠的な指導ではなく、未然に問題をつくらぬ指導、事前のきめ細かい指導が必要である。」などの言葉が本研修会でのキーワードになるのではないかと感じている。

なお、意見交換・仲間作りの場として、初任者研修会では、交流会が設けられているが、今回は各県アトラクションとして、参加者の寸劇などが披露され、大いに盛り上がりと共に非常に有意義な交流の場ともなった。

(横山記)

